

脱水は予防が大切

ヘルパーステーション星の里 八木 真知子

正しい水分補給をして脱水を防ぎましょう。ヘルパーは一年中、高齢者の水分不足による体調不良（脱水、発熱、便秘、意欲低下）に注意しています。顔色や動作をみて体温測定し、水分補給を行います。基本的には本人が好む水、お茶、コーヒー、スポーツ飲料等どれも良いですが、1時間に1回程度コップ半量でも飲みましょう。

でも、水分をとるとトイレが近くなるし、喉が渇いていないとなかなか飲んでもらえません。そこで、ヘルパーが心がけている脱水予防は、①訪問時に声をかけて飲んでもらうための準備をする。

- ② 飲むととれない利用者さんに対しては、ヘルパーも一緒に飲む。
- ③ 枕元にいつでも飲めるように置いておく。
- ④ 朝、起きた時と寝る前に必ず飲んでいただく。
- ⑤ 水分の多い果物やゼリーを食べていただく。
- ⑥ 利用者の好み（温度も大事）を把握してお勧めする。
- ⑦ 薄味の味噌汁や吸い物を作り飲んでいただく。
- ⑧ 一度に沢山飲むのではなく、たびたび声かけをして飲んでいただく。
- ⑨ 重度の方にはトロミを付け、ストローや吸い口を使用する。
- ⑩ 市販のOS-1（経口補水液）をお勧めする。

家庭でできる経口補水液の作り方

水1リットル、塩3g(小さじ1/2杯)、砂糖40g(大さじ4と1/2杯)を良くかき混ぜる。水1リットルの代わりに水700mlとトマトジュース(無塩)300mlでも良い。



▲水分補給の風景

さつき SATSUKI

第47号
平成25年5月

発行
社会福祉法人
尾道さつき会
広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
http://www.satukikai.com

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町) TEL (0848) 377272
- ワークスさつき (美ノ郷町) TEL (0848) 485900
- むかいしま作業所 (向島町) TEL (0848) 446460
- 尾道福祉専門学校 (久保町) TEL (0848) 372222
- 尾道さつき作業所 (久山田町) TEL (0848) 238004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町) TEL (0848) 484070
- すだちの家 (御調町) TEL (0848) 771122
- 尾道市障害者サポートセンターはな・はな (門田町) TEL (0848) 295002

星の里新館 オープン



▲高齢者総合ケアセンター星の里新館



▲2F ホール



▲2F 共同生活室



▲2F 居室

地域密着型特別養護老人ホーム星の里
4月2日、高齢者総合ケアセンター星の里新館が開所しました。新館は、1階に地域交流ラウンジおよび事務所、2階に小規模多機能型居宅介護事業所(定員25名)、地域密着型特別養護老人ホーム(ユニット・定員11名)、3階に同じく地域密着型特別養護老人ホーム(2ユニット・定員18名)、4階に短期入所生活介護事業所(定員20名)を配置した複合施設です。

新館の特徴は①居室は全てユニット型個室②少人数で家庭的な雰囲気③専門学校と近いことで学生と交流できる④地域交流ラウンジを開放して地域の人と社会的交流できることなどです。

岡野 明香

利用者が相互に社会的関係を築き自律的な生活を営むことを支援し、地域交流を積極的に行うことで地域社会との関わりが継続でき、充実した毎日を過せる施設です。

人によっては住環境が一変することによって鬱(うつ)症状などを引き起こす場合もあります。まして何十年もの長い間、同じ場所を暮らしてきた高齢者にとっては異なる環境に突然身を置くことは非常に大きなストレスとなり、認知症などが重症化するきっかけとなる場合もあります。利用者一人ひとりが自分らしく過ごして頂く為にも、利用者と家族、地域住民との繋がりを大切にしていきたいです。

売り上げ増で やる気もアップ

公共機関に自動販売機設置
むかいしま作業所 泉 唯



▲福祉センター内に設置された自販機



▲尾道市総合福祉センター

むかいしま作業所は、総合福祉センターと市民センター向島ココロに自動販売機を設置しています。作業内容は飲料水補充や在庫確認、釣り銭補充、空き缶収集などです。利用者さんは、飲料水を補充する係や補充数を記録する係など個別に役割を担当し、自分の作業に責任を持って取り組まれています。また、作業中はむかいしま作業所のロゴ入り帽子をかぶることで、公共の場で作業を行うという意識を高め、来館者の方には必ず挨拶をするようにしています。売り上げを確認し、たくさん売れていると「やったあ」と笑顔が見られます。皆様に買っていただけるとやる気と工賃アップに繋がります。立ち寄りされた際にはぜひ一本いかがでしょうか。

寄付者一覧

(二〇一二年十二月～二〇一三年三月 順不同、敬称略)

- 〔寄付金〕 高橋豊、三島一郎、行廣光倫、崎谷亘、井丸勲、松谷邦子、本村博三、土屋潔子、児玉義雄、竹下正史、廣谷毅、芦田孝子、鼻孝子、佐藤広士、日野泰久、成田宏之、國貞峯子、府中地区労働者福祉協議会
- 〔寄付物品〕 河井純子、岩本光平、西岡光正、須田稔

編集後記

好評だった「福祉のしごと」シリーズを今号からも引き続きお届けします。皆様の役に立つ広報紙を目指し、今年度も3回の発行を予定しています。(T.O)

シリーズ **福祉のしごと** 歯科衛生士編

星の里 歯科衛生士 瀬尾 麻衣

特別養護老人ホーム星の里での歯科衛生士の仕事は、利用者さんの口腔内を清潔にして、口内炎や義歯の当りができていないかなどの口腔粘膜の観察、食事の際に誤嚥をしていないかを確認しながらの食事介助などがあります。誤嚥性肺炎の予防、口の中の機能維持、改善、全身感染症予防も専門職として大事な仕事の一つです。

<利用者さんとの関わり>

口の中を触られる事を好きな人は少ないと思います。そのため、口腔ケアをするにはまず信頼関係を築くことが大切です。すぐに口腔内を触るのではなく、コミュニケーションをとり安心していただき、口腔ケアをしています。

拒否が強く、力が入っていると口腔ケアがうまくできません。そういう方には軽くマッサージをしてリラックスしていただき口腔ケアを行います。また、自分で歯磨きできる方には仕上げ磨きを行います。

口腔ケアでQOLを向上

ベッドで寝たままの利用者さんの口腔ケアもあります。そういった場合は体位交換など介護士に助けをもらい、利用者さんに負担のかからないように口腔ケアを行います。



▼利用者さんへの口腔ケア



▲新人職員(左の2人)への研修も大切な仕事です

<歯科医師との連携>

虫歯や歯肉の腫れを見つけたり、入れ歯の調子が悪いときは囁託の歯科医師の指示を仰ぎます。また、開口困難な方にどのようなケアをしたらよいかなど相談に乗っていただきます。検診の際は口腔内を見ながら、利用者さんの口腔ケアの問題点など情報交換をします。

口腔内を清潔に保つことは、ただ単に虫歯の予防や機能維持だけでなく、QOL(生活の質)の向上にもつながります。これからも利用者さんとの関わりながら、よりよい生活を送っていただけるようケアをしていきます。



一層努めていきます。



▲笑顔でコミュニケーション能力アップ

修で職員には介護・福祉の専門性だけでなく、どこで勤務しても求められる社会性と組織人の基礎を身につけてもらいたいのです。

尾道さつき会の取り組み

①会の子育て支援手当の新設
 4月から、楽しく働ける環境づくりの一環としてさつき会の「子育て支援手当」の支給が始まりました。この手当は①3人以上の子どもを養育する正職員②3人目以降の子が義務教育修了前であることが条件です。
 3人目以降の子ども1人につき月額2万円が支給されます。
 子育て中の職員の育児にかかる経済的負担を軽減し、次代を担う児童の健全な育成に役立てることが目的で新設されました。
 今後、短時間勤務の促進など、職員が子育てのしやすい職場となるようより一層努めていきます。

②法人研修で人材育成
 財務企画部 荒谷 信吾
 昨年度から「組織人の育成」を目的に法人研修がスタートしました。この研修は3カ年のカリキュラムが設定されています。1年目のテーマは「コミュニケーション能力の向上」で、グループディスカッションを中心とした研修を行いました。
 2～3年目は「部下育成力の向上」(総合職以上)と「部下力の向上」(一般職)をテーマに研修を行います。
 日々の業務では専門の知識・スキルを求められる場面が多いのですが、この研修で職員には介護・福祉の専門性だけでなく、どこで勤務しても求められる社会性と組織人の基礎を身につけてもらいたいのです。

作業スペースの拡大で工賃アップを目指す

ワークスさつき 田口 潤

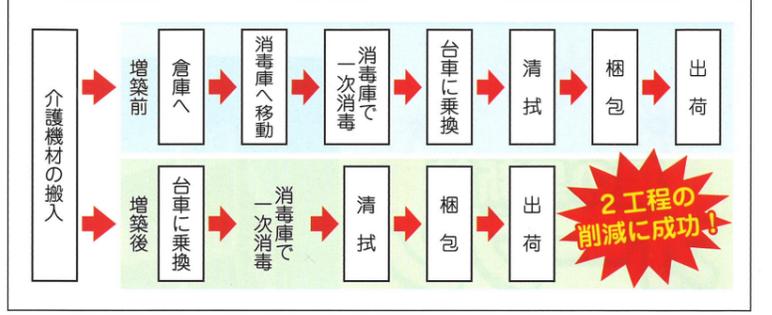


▲消毒作業を行う利用者さん

介護機材の消毒事業を主な作業としている「ワークスさつき」は、広島県の補助金を受け、3月末に消毒室と作業室等の増築となる第4期工事を無事終わりました。

作業場増築の効果として、機材の移動に費やす時間の大幅な短縮があげられます。(図参照) また、安全な作業スペースの確保が可能となりました。利用者さんからも、「集中して落ち着いて作業ができる」と好評です。

さらに、搬入から出荷までの流れを良くしたことで、作業効率がアップし、作業量も拡充したため、今後の収入増を見込むことができます。それに伴い、利用者さんの工賃に反映できます。



現在は、利用者さんも増えたことで定員が20名から30名に変更になり、活気あふれるワークスさつきとなりました。広島県平均工賃が14,397円(厚生労働省ホームページ参照)の中で、35,500円の平均工賃(2012年度)を支払っていますが、利用者さんと職員が一体となり、目標平均工賃37,000円を目指しています。

▼ コッコさんのクッキーがリニューアル



- ①クリアなカップを使用
車のドリンクホルダーにセット!ドライブ中でも召し上がれます。
- ②ひときわ目を引くラベルに
多種類の商品が陳列されているサービスエリアでも、オシャレに目立ちます。
- ③ネーミングの変更
「朝やけバター」「昼下がりのチョコチップ」「夕焼けショコラ」となりました。

販売を開始してから1ヶ月以上が経過しました。定期的に注文が入り、利用者も製造に力が入っています。これを機に、よりたくさんの方に当事業所の製品を知っていただきたいと思います。また、法人事業所内の自主製品のPRをし、販売へ繋いでいければと期待が高まっています。

以前から当事業所の製品を知っていた「西日本高速道路(株)岡山高速道路事務所」の企画提案の来訪がきっかけでした。

岡山県から多くの障害者事業所が候補に上がる中で、広島県から唯一選出され、企業内の品評会を勝ち抜き、当事業所がモデルケースとなりました。今は高梁サービスエリアでの試行販売ですが、将来は岡山県内のサービスエリアやパーキングエリア販売へ拡大、さらに中国5県への拡大へ繋げたいと考えています。

3月から、リニューアルした「コッコさんのクッキー」を岡山県の高梁サービスエリアで販売しています。

「以前から当事業所の製品を知っていた「西日本高速道路(株)岡山高速道路事務所」の企画提案の来訪がきっかけでした。」

企業内の品評会を勝ち抜き、当事業所がモデルケースとなりました。今は高梁サービスエリアでの試行販売ですが、将来は岡山県内のサービスエリアやパーキングエリア販売へ拡大、さらに中国5県への拡大へ繋げたいと考えています。



▲高梁サービスエリアで販売中

サービスエリアでクッキー販売

すだちの家 真谷 歩